

ピックアップニュース

Pickup NEWS



祝敬老会



多年にわたり社会に
つくしてきた老人を敬愛し、
長寿を祝う

『敬老の日』に際し、高森町でも、9月の中旬から各地区で敬老・長寿をお祝いする敬老会が開催されました。地区によっては趣向を凝らし、にわかやひよつこ踊りなどの演芸を準備し、参加者は近隣の方々と会食しながらお喋りに花を咲かせるなどして終始、和やかな催しとなりました。

また、100歳の長寿を祝い、今年3名の方に内閣総理大臣と高森町からの表彰状と記念品が草村町長から手渡されました。

いつまでも、若々しく健康であっていただきたいものです。



感謝を込めて



津留 セキ子さん (高森・横町)



甲斐 トキオさん (草部・社倉)



近藤 仲市さん (高森・横町)

草部吉見神社 大絵馬奉納



(左)倉田さん (右)怒留湯さん

9月24日(土) 草部吉見神社にある、2枚の大絵馬に新たにもう1枚追加されました。

これは、草部・大畑畑出身で現在大阪に在住の倉田正一さんが、故郷である草部に思いを寄せ、奉納したものです。既存の大蛇伝説が描かれた大絵馬の修復を、倉田さんの中学時代の恩師である怒留湯 誓さん(菊池市在住)が吉見神社から受けていることを知り、奉納用にも1枚描いて欲しいとお願いをしました。

そして、寄進したのが、今年7月の吉見神社で行なわれた夏祭りの日です。大蛇伝説の大絵馬が、拜殿内部の正面に、そして、新しい竜の大絵馬が右側に飾られることになったのですが、バランスを見て、左側にも飾る絵馬を、ということので、今回更に新しく虎の絵を描いてもらい、奉納の運びになりました。

この絵馬には、震災がもう二度と起きませんように、という倉田さんと怒留湯さん両名の思いが込められているそうです。

その後、草部地域のために貢献する倉田さんを囲み、『草部元気会』という名の懇親会が開かれ、総勢80名もの人が美味しい食事に舌鼓を打ちながら、より一層の親交を深めました。



★高SPO青少年異文化体験交流

問 高SPO事務局
☎62-2991



※スマホ、携帯からでも閲覧可能です。WEBページもぜひご覧ください！

<http://www.takaspo.jp/>



8月7日(日)、8日(月)の2日間、人材育成事業の一環として、町内の小学生12名と南阿蘇村の小学生2名が天草で体験交流を行いました。1日目は、五和町の陶芸教室でオリジナルの皿やコップ作りを体験。その後、イルカウォッチングや海水浴を楽しみ、夜は茂串地区の子どもの会とバーベキューや魚釣りをしました。2日目は早朝、漁港を見学。初めての『セリ』の迫力に圧倒されていました。その後、グラスボートに乗り、間近に見る魚に、目を輝かせていました。14名の子どもたちは異文化体験をし、充実した2日間を過ごしました。これを機に次世代のリーダーとして活躍してほしいです。

★第4回たかもりジュニアサッカー大会



8月11日(木)に、熊本地震復興・南阿蘇鉄道復旧支援を兼ね、阿蘇世界農業遺産認定記念・第4回たかもりジュニアサッカー大会が、休暇村「南阿蘇」芝生広場で行われました。小学1～3年生までの32チームが参加しリーグ戦を行いました。高SPOからも1～3年生が出場。日頃のレッスンで身につけたプレーを発揮しました。その中で、3年生は見事優勝！高SPOサッカーのこれからの活躍に期待です！